娯楽

新映畫紹介　晴小袖

前進座の映畫進出に對して今度は古き傳統を誇る新生新派の川口松太郎、構成には溝口健二があたつてゐる、内容は明治初期、深川木場を背景にした川並の生活、義理と人情を絡ませた風俗史的場面に、明治文化建設の隠れたる建設精神を謳歌するもの、演出は好調の牛原虚彦、日本映畫に初の台詞應當として阿木翁助、美術考證は木村荘八、花柳章太郎、柳永二郎、伊志井寛、森赫子、梅村蓉子等の出演、文部省の推薦映畫、期待すべき一篇であらう

十圓のマスク

コント

山城さんはマスクを懸けないなどと言ふ不心得者ではなかつたのである、冬の風に吹き飛ばされる様にして酒場「クスマ」に飛び込み、咽にしみる様な冷いビールを飲んだ、日本酒はどうもいけない、冷いが腹の底あたりからぢのうちにぽかぽかして來るのである、それ迄はよかつた、夜の戸外の冷さを思つてビールを少し餘計に飲みすぎたけれど、すつかり良い機嫌でやをら立ち上りチョッキのポケットをさぐつて下宿屋のおかみさん御手製の大きなガーゼのマスクをさがしたのである、ところがない！先刻は入口で確に右のかくしに入れた筈なのである、それが無い！のだ

〃ねえ、きみ…〃と山城さんは腰を浮かした、聰な恰好で心細く尋ねたものであつた

〃マスクがないと叱られるかい？〃

女給さんは眼をくるくるした

〃あつたりまへよ！うちの椿さんなんか、マスクを手に持つて歩いてゐたゞけで、さんざ叱られ、マスクは手に持つもんぢやない口を覆ふものだつて、もう大變だつたさうよ、今時マスクなしなんて市民の敵よ、罰金の二百圓位安いもんだわ〃

山城さんは、もう、どうしようかと思つた、先刻は確にあつたのだ、マフラで顔をかくして行かうか？見つかつたらどうしよう、市民の敵！

〃ねえ、きみ…〃

良心的な山城さんは再度心細く呼びかけたのである

〃すまないけど、君のマスクかして呉れないかな、明日は確に持つて來る〃

〃まあ、ほんとにないの、テキねあんたわ、マスクを借りたりかしたり出來ると思つてるの〃

女給さんはさう言ひ乍ら、しよぼしよぼしてゐる山城さんに奥の方からビロード製のマスクを持つて來て呉れた

〃差しあげまアす、返してなんかいらないわよ、市民のテキ！〃

山城さんは頭を二度程下げて、それでも大安心して赤い灯の下を出ていつた、マスクを渡したその女給さんは、あとで吃驚したものであつた、山城さんが感謝をこめて手渡したチップは（近頃では珍らしい）十圓だつたのである

防疫參戰の映畫館　二十一日一齊に開館　豫定番組大變更

十三日國都を擧げてのペスト防遏大掃除に足並揃へ、全市各映畫館奈落の底からの大掃除を敢行したが、翌十四日からは、積極的に防疫戰線に參加する爲首都警察廳の特命もあつて一週間休館することゝなり館内事務員總動員して掃除、消毒の上にも消毒、その他館内の整備、映寫機の掃除等でひつそりした劇場前と異なり館内では大童の狀態であつたが、近く一週間の期間も過ぎ、ペスト禍に憂鬱な市民の前に、再び娯樂の殿堂を開くことゝなつた、一週間の休館の爲、豫定されてゐた番組もすつかり變更されてゐるが二十一日上映豫定の各館變更プロは左の如くである

新京キネマ

「風雲將棋谷解決篇」上映中で大週は「宮本武藏改訂版」の封切が豫定されてゐたが休館のため十三日國都を擧げてのペスト二十一日……二十四日

▼…「ロイドの天國と地獄」

▼…「タルマッチの内弾王者」「モンテイの大陸橫斷」の昔懷かしい三本立、ついで

▼…宮本武藏一部・二部・三部

二十五……三十一日

帝都キネマ

「祖國に告ぐ」上映中のところ休館

廿一日

▼…「白蘭の唄」大會

廿二日

▼…三羽烏、アチヤコ、今男のアトラクション（封切映畫未定）

長春座

「若草」上映中休館、アトラクションの新橋みどり一行は十四日休館早々ハルビン向け出發し、次の再映プロ「私には夫がある」「新妻問答」は次の如く變更

滿鮮提携映畫　「福地萬里」內地封切！

半島演藝陣の日本內地にかける活躍には刮目すべきものがあるが、先般絶讃された半島映畫「授業料」に引續いて滿映＝朝鮮高麗映畫社提携になる「福地萬里」が今回東和商事の手によつて內地封切が豫定されてゐる、之は滿鮮映畫界が二ケ年の日子と七萬圓の製作費を費やした開拓者の苦心を描く大作で、映畫製作にあたつて日滿鮮人士の固い握手は涙ぐましいものがあつたと言はれる

日本文化映畫を獨へ　先づ「日本精神」製作

ベルツ氏關係筋と折衝

既報、日本文化映畫をドイツに紹介するためドイツ宣傳省から特派されて來朝したエルヴイン・トクノスケ、ベルツ氏（四二）は各方面を視察、臺本の作成に愼重を期してゐるが、氏の計畫する映畫は（一）日本精神（二）日本の宗教的祖國愛（三）日本文學をテーマとしたもの（四）劇的場面を包含した文化映畫の四つに分れ、目下第一のシナリオ作成中で近く製作に着手する、なほこのドイツ向け映畫のほかに東寶、松竹などと連絡をとり、國內映畫も一本作る豫定で、音樂も邦樂をとり入れ大半を日本で錄音大體明

朝日座

「仇討交響樂」上映中休館、次週の「麗史」は……

廿一日……廿三日

▼…「荒野の妻」「天保江戸櫻」新興映畫

廿一日……廿七日

▼…「女人轉心」「兩國三人娘」アトラクション（二十二日より）セルビアン・ショウ一行

銀座キネマ

「花嫁喧嘩」「陽氣な幽靈」上演中休館、次週の「金毛狐」は次の如く變更

廿一日……廿四日

▼…「お千代傘」「最後の七人」

豐樂劇場

二十一日……二十四日

▼…「涙の責任」「唄祭浩吉……」

春三月ごろまでに全部の完了を見るはず、なほ同氏はこの機會に一般日本映畫のドイツ輸入を計畫、ドイツ映畫との交流を目ろんで關係筋と折衝を續けてゐる

市丸登錄後初の出演

松竹大船宗本英男監督の「隣組のおばさん」にはビクター專屬の市丸が特別出演してゐるがこれは市丸が映畫俳優として登錄後初の映畫出演である因に市丸はかつて大船映畫「天龍下れば」に聲援したことがある

日本ニュース　十九號內容

「日本ニュース」第十九號內容は「一、天皇陛下東京帝大に行幸」「一、紀元二千六百年特別觀艦式」「一、大政翼贊會發會式」「一、新日本發足の雄叫び！國民大會」「一、ビルマ援蔣路とは？」「一、江南十月作戰晚の掃蕩戰」

次週封切映畫

お千代傘

新興京都作品

新人三星敏雄監督第四回作品、內容は剛慾な姉夫婦のため信濃屋の若旦那卯之助の慰み者となつたお千代が、一旦犯した己が過失を思ひつめた餘りから一生を犧牲にして妾奉公に出やうと決心するが、幼馴染の茂平の手によつて危い所を救はれ、共に新生活に再出發するまでの愛情の機微を描いたもの、カメラは軟調を云々されてゐる田島松雄、配役は南條新太郎に岡春惠、歌川絹枝【銀座キネマ廿一日封切、寫眞は南條新太郎（左）に寺島貢】

佳人去來

金蓮實……樂劇團……

アリランと大金剛山と妓生の國、大陸への花道……朝鮮、これは半島好みの小野賢太氏の名謳ひ文句である、佳人惱み多し……半島映畫初期のスター金蓮實は、嘗て生活の潮流の中に、無爲の一年を國都新京の片隅にすごしたが、更に一年、三十餘名の座員をもつて樂劇團を組織し再び來る、劉桂仙、金紫英、金爲根等半島魂憲人去來する中に、彼女の鮮かな再起こそは拍手を以て迎へられるであらう

大船の三大作　公開は明春か

大船の秋の三大作「西住戰車長傳」「みかへりの塔」「戶田家の兄妹」は夫々十一月乃至十二月に公開される豫定であつたが「西住戰車長傳」は十一月中に「みかへりの塔」「戶田家の兄妹」は十二月中に夫々完成豫定が遅れ、結局後者の二作品は明春公開となる模樣である、尙松竹では「西住戰車長傳」を十二月冒險的に一ケ月續映を敢行せんと計畫してゐる

所長入替へに日活また險惡

日活の東西撮影所長入替へは內務省、警務顧當局の斡旋でこの十五日を期して行はれることに決定を見たが、はしなくも声田多摩川所長の動きをめぐつてまたく險惡な雲行きを呈するに至つた

卽ち声田所長が一箇月の豫定で京都へ赴任するといふ森田社長の方針に京都方が飽きたらず、辻監督等が發起となつて撮影所首腦部の意向を取まとめ、曾我又長が眞相調査と圓滿解決のため急遽上京したものである

スタヂオ便り

▼…「大地に祈る」は新人が製作　東京發聲豐田四郎監督は宮川マサ子著「大地に祈る」製作の豫定であつたが、當分休養する事となり、同作品は新人村田武雄監督が拔擢されて映畫化と決定した◇

▼…大都「水戶黃門」若手大都の時代劇秋季大作、後藤昌信監督「水戶黃門」は幹部俳優總出演、下村晴夫撮影で製作開始した◇

▼…「父なきあと」佐々木監督映畫化　松竹大船では氏原大作氏の長篇「父なきあと」を映畫化と決定野田高梧が脚色を擔當し、佐々木康監督のメガホンで近く着手する◇

▼…日活多摩川の吉村廉監督は德永直原作「結婚記」を健全娛樂映畫となすべくロケ部分から撮影開始

「雜音」當分休載

鮮内食糧の補給問題解決

井野次官　來滿の意義重大

日滿支食糧問題は日本内外地の米穀需給關係を反映し之が根本的計畫の樹立が要望されたが日本においてはさきに發表された米作豫想を基準に需給策を練りつつあるが、その結果朝鮮米の大量對日移出は必至とされ、需給策の中心は鮮米を繞り重大視されるに至つた即ち鮮米の内地移出は米穀需給が年々増大する傾向にあるため頗る窮屈化するを免れずと雖も内地移出は絶對確保の要ありとされて居り、この鮮内食料の補給を如何に解決して行くかが問題の該心であるが、之が移出補充は滿洲雜穀に仰ぐより外なく、内地移出限度は一にかかつて滿洲雜穀の對鮮輸出にありと見られて居り之が打診のため來滿した井野次官の對滿交渉の結果は頗る重大視されるに至つた

滿洲の對鮮供給數量については既に重政臨時農村對策部長の入滿交渉により一應原則的打合せを行つたものであるがその後の情勢の推移により内地の米穀需給方針にも相當の變化を示すに至り今回井野次官の渡滿を見、交渉を開始するに至つたものであるが、今次の交渉の結果對鮮供給雜穀の數量は相當多くなるものと豫想されて居り、從つて鮮米の對滿輸出量、國内雜穀需給關係にも相當の影響を齎すことが豫想されるので、井野次官と政府首腦部との交渉結果は頗る注目さるるものがある

糧棧組合結成を慫慂

出荷對策急ぐ

政府は新穀出廻期に直面しさきに決定實施を見つゝある農産統制強化方針を基幹に凡ゆる部面に亘り出荷促進助長策を講じつゝあるが農産物の唯一の蒐荷機關として最もその能力の發揮が要望されてゐる各地の糧棧に對してはさきに興農部令第二十三號を以て市縣旗單位に糧棧組合を組織すべき命令を發し、組合員に非ざるものとの取引を一切嚴禁すると共に出來得る限り既存業態を利用することになつたが未だ地域的には未組織の地方もあり關係機關では組合組織の徹底、從適に努めつゝある未組織の有力なる原因としては組合員の出資如何が大きな障碍となり糧棧の取纏めが出來ないと言ふのが大部分であるが、政府としては組合員は必ずしも出資に據るを要せずとしてをり現地の業者分布、その他の條件によつては組合經費の賦課分擔の方法もあるのであるからこれ等の技術的問題については成るべく形式を避け、現地に即應した處置をとり、早急に組合を組織し、糧棧自體の活動を遺憾なく發揮すると共に蒐荷に努力せんことを切望してゐる

なほ當局としては出廻期に直面してゐることとて組合組織を躊躇する場合は統制法規に基き適當なる措置を講じて合作社統制會社機能を發揮せしめ蒐荷に遺憾なき方針をとる模様である

北支開發債券募集

【東京發國通】興銀では十六日第七回政府保證北支開發債券五千萬圓の募集條件を左の如く發表したが最近の經濟情勢に鑑み市場公募は五百萬圓に止め殘額四千五百萬圓はシ團親引け並に官廳筋の買入れに仰ぐこととなつた

一、利率　年四分二厘
一、發行價格　額面百圓につき金九十九圓五十錢
一、申込期間　昭和十五年十月十九日より同廿二日まで
一、拂込期間　昭和十五年十月廿八日
一、募集の委託を受けた會社　興銀（代表）正金、朝鮮、臺灣、第一、三井、三菱、安田、第百、住友、三和、野村、名古屋、愛知、神戸の各銀行及び三井、三菱、安田、住友の各信託會社
一、應募者最終利廻り　四分二厘六毛餘り

洋灰聯合會解散

【大阪發國通】セメント聯合會はセメント工業組合の設立を機に發展的解消を遂げることゝなり十六日ガス・ビルに總會を開き同聯合會解散の件を附議正式に決定した

滿洲大豆化學工業　滿洲大豆工場買收

滿洲大豆化學工業株式會社では豫て滿洲大豆工業會社大連工場の買收並に同社の事業一切の繼承經營につき折衝中のところ過般圓滿成立を見たので十六日午後六時半より大連ヤマトホテルに知名士を招待して披露宴を開催した

龍烟鐵鑛の對日供給

【張家口十六日發國通】國際情勢の急變に伴ひ圓ブロック内における重要物資の對日供給が益す緊要となつて來たが昨年度圓域内にある各鐵鑛山のうち最高能率を擧げ興亞院より能率鑛山の折紙をつけられた龍烟鐵鑛では日本側の要望に應へ本年度はさらに採掘能率を昂めた結果本年末までには山元において本年度豫定數量の採掘が可能視され塘沽、秦皇島兩港よりする積出しの活潑化が期待されてゐる

土建金融の歸趨　保證組合を結成か

統制後における土建金融問題は本春新土建協會の結成以來關係者間において舊土建協會附設共濟會の機能擴充乃至は新保證組合の結成等種々研究が進められてゐたが、土建金融保證機構の確立は資材昂騰、資金抑制等によつて事業遂行困難が豫想される同後の業界を左右するもの多々あるに鑑み早急對策樹立の要ありとして關係當局では愈よ最後的檢討に着手年内にはこれが確立を企圖することゝなつた、考究されつゝある土建金融の保證問題に對する最も根本的な出發點としては

一、土建協會に保證組合を設置することを前提として政府が現金出資を行ふか
二、或は土建協會の保證に對する再保證を行ふか
三、或は全く保證問題に對して政府は關與しないか

の三點に對する政府の意向によつて決定せられることゝなつてをり、第一案による政府の出資があれば滿鐵方面の出資も豫想されるのでこれ等と舊土建協會附設共濟會資本を合した強固なる保證團體が結成され、第二案によれば政府の保證の限度において金融界も貸出抑制方針を堅持することが豫想され、第三案によれば協會自體において別個に對策を樹立せねばならず從つて金融界の信用程度も前二者に比しては一層窮屈視されることが豫想されるので結局協會側の意向としても業者の希望としても第一案即ち政府の出資方を特に要望してをり政府側においても可及的範圍において協會側の希望を實現せしめんとの意嚮も見え第一案が實現するのではないかと豫想されてゐる

なほ本年度土建金融は貸出最高時六千五百萬圓見當に達し昨年に比し約三割増となつてをりこれが原因には資材昂騰勞賃高等も影響してゐるが、工事量の増加も見逃せず、從つて年初來豫想され來つた資材資金勞力難による土建界の不振は杞憂に過ぎざること判明工事は全面的に順調に推移しつつあることが立證された

奉天の土建工事

土建最盛期の九月が終へた奉天に於ける一月—九月土建工事受請總額は左表の如く總件數九百二十七件、金額三千九百七十萬三千圓となつてゐる

△土建協會奉天分會調査（單位千圓）

企業別	件數	金額
△土木の部		
滿鐵	一哭	三、八八八
滿洲國	八	一、九九八
及び一般	八	七、九八八
奉天入札他	三〇	一八、九九九
地方施工		
合計	四七	三六、八〇三
△建築の部		
滿鐵	三六	三、八二八
滿洲國	八	一、九九八
及び一般	八一	七、九八八
奉天入札他	四〇	三、八三
地方施工		
計	九〇七	三元、七〇三
總合		

消費組合の輸入品取扱方法

輸入聯盟は設立以來順調な發展を見せてゐるが、最近大連羅津等の出張所より官吏消費組合滿鐵消費組合の輸入品取扱ひに關し問合せあるにより之が態度を決定すべく十五日午後二時より生必會社重役會館に輸入聯盟より吉田總務課長他三課長、生必會社より櫻井食料品課長、近藤雜貨課長その他關係員等參集し協議の結果次の如く決定した即ち十月一日以降は官消、滿消を問はず聯盟員以外のものゝ輸入品は聯盟員側にて肩代りせず、但し官需、特需は原則として生必會社にて仲介すべきものなるにより生必會社が之等輸入品の仲介をなさんとする時は同社の業務として之を行ふ從つて官消、滿消では生必會社を通さずして乙號品輸入を行ひ得ざる事となつた

新しい體制は既に出來てる筈　（十）

南滿よもやま街の話

三中井百貨店部長　財場周藏

新聞等でも御存じのやうに何百貨店をオフイスにするとか何とか報道されてをりますけれども幸ひ滿洲にかてはその點は割合に心配なく適正なる物資の配給といふことを主眼に置いてをる關係上今後統制經濟にひかされて百貨店、内地の濟と百貨店は益す統制經濟にひかされて民衆から重大視されるであらうことは

我々の最も強味

であると思ふ、過般來内地の百貨店の轉向といふやうなデマに依つて、私共のところの業者等も動搖するやうな傾向があつたけれども私共のところ携つてをる者から見てそんなことは絶對にない、滿洲の百貨店に於ける限り、さういふ心配はないと云ひ聞かせてをる次第であります、先般奢侈品禁止令が出て、世間に於ては往々にして百貨店はこのために困るだらうといふ噂がありますけれども、私共のところの

全商品から見て

奢侈品と名づけるものは僅々十パーセントにも足りないもので、その點割合に樂な氣持で乘り切れる譯であります、近時旺んに新體制化といふことを云はれますが、今更に事新らしく云ふ必要もないと思ひます、新體制なるものは既に二、三年前からなければならぬものであつてかうした新體制は

事變勃發時から

心がくべきものであると思ふ今更慌てゝ唱へるといふことはどうかと思ひます＝談

商況前場（十九日）

海外經濟電報

品目	相場
倫敦金塊	一六八志〇
紐育金塊	三五弗〇〇
倫敦銀塊	二三片一六分七
同　先物	二三片八分三
紐育銀塊	三四仙四分三

外國爲替

品目	相場
米英爲替	四弗〇三仙四分一
米日爲替	二三弗四七仙
米支爲替	五弗九四仙
英日爲替	一志二片二分一
英支爲替	三片三二分三
英佛爲替	一
米獨爲替	四〇仙〇五

紐育株式

銘柄	相場
スチール株	六一弗八分三
アナコンダ株	二三弗四分一

紐育棉花

限月	相場
現物	九仙七八
十二月限	九仙四九
一月限	九仙四〇
三月限	九仙四六
五月限	九仙二七
七月限	九仙一八
十月限	九仙七〇

印棉

銘柄	相場
ベンゴール	一三九留比〇
オムラ	一七〇留比四分一
ブローチ	一九三留比四分一

各地株式市況

東京株式（短期）

銘柄	寄付	大引
新東	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
帝新	[illegible]	[illegible]
洋新	[illegible]	[illegible]
日鑛	[illegible]	[illegible]
日船	[illegible]	[illegible]
郵新	[illegible]	[illegible]
同石	[illegible]	[illegible]
日立	[illegible]	[illegible]
日産	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
東電	[illegible]	[illegible]
電鐵	[illegible]	[illegible]
日新	[illegible]	[illegible]
糖曹	[illegible]	[illegible]

大阪株式（短期）

銘柄	寄付	大引
大新	[illegible]	[illegible]
新鐘	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
帝新	[illegible]	[illegible]
日曹	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]

大連株式（短期）

銘柄	寄付	大引
五品	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]
新東	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
滿業	[illegible]	[illegible]
滿鐵	[illegible]	[illegible]
豆新	[illegible]	[illegible]
土木	[illegible]	[illegible]

各地商品市況

大阪綿布

限月	寄付	大引
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
四月限	[illegible]	[illegible]

大阪棉花

限月	寄付	大引
十月限	[illegible]	—
十一月限	[illegible]	—
十二月限	[illegible]	—
一月限	—	—
二月限	—	—
三月限	—	—

大阪期米

限月	寄付	大引
當限	—	—
中限	—	—
先限	—	—

大阪人絹

限月	寄付	大引
當限	—	—
五月限	—	—
六月限	—	—
七月限	—	—

橫濱生糸

限月	寄付	大引
十月限	[illegible]	[illegible]
十一月限	[illegible]	[illegible]
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]
現物	[illegible]	—

手形交換高

一三七枚　[illegible]

金・噂・酒

北支で在留邦人の佛給不均衡を是正せよ、物價適正化を圖れといふ論が起つてゐるので紹介する▼佛給生活者にとつては電車バス等が路線の改廢、區劃の變更に藉口して後から後からと巧妙に値上げを強行されることなど何れも少からざる痛手である▼此の外取締の目が充分に届くに困難な日々の野菜、果實、鮮魚等の昂騰一途を見る方面への停止令滲透は當局に切望する所である云々▼悩みは何處にも絶えぬものらしい

腕づく半次（167）

（禁上演映畫化）　中川雨之助　西正世志畫

興し易い男

「さうく、その噂も聞かんぢやない。佐々影さんは、投網を打ちに行つて、過つて溺れたんだつてねえ……」

冷やかに言つて、お源はまた煙管を取り上げた。しかし一つ處をチッと凝詰てゐる彼女の瞳は異様に輝いて、煙管持つ手が、微かに、震へてゐるやうである。

鶴吉は、今度は、信と目を据ゑて、口を一文字に引結んで、お源の横顔から眼を離さうとはしない。

「姐さん！」

鶴吉の聲は顫へた。

「何だい？」

クルリと向き直つたお源の顔は、いくらか落着を失つて心もち蒼ざめてゐた。

「姐さん、佐々影さんは、ほんたうに、溺れて死んだんでせうか？」

「それを……それを、姿に訊いて、如何しようと云ふの。……そんなこと、姿が知るものかね……」

「姐さん、知らないんですか？」

「あゝ、知らないよ」

「嘘です！」

「何ッ！」

煙管をグッと握りしめ、罵り違へば、直ぐに子分を、呼立てさうなお源の權幕であつた。

鶴吉も、スッカリ蒼ざめてモウ恐しいとは思つてゐない樣子である。

「佐々影さんは、溺れて死んだんぢやねえ。コ、コ、殺されたんだ！」

顫へながら、カ一ぱい言切つた鶴吉の一語が、刄物のやうな鋭さで、お源の胸を刺した。

「……」

何とか言はうとしたが、お源は舌が吊上つて、何とも言へなかつた。だから分ることだ……」

胸が悲しみに蓋されて、鶴吉は、たうとう聲を揚げて泣き出した。

その小児々々しい樣子に、チッと眼をつけて、心の中で思はず臆病興し易しと、お源は思つたのであつた。

ないか。妾や、定五郎さんの、番を頼まれた譯ぢやなし、それほど大切な親方なら、首ッ玉へ、縄でもつけて縛つて置くが宜いぢやないか」

高が、釣船の小船頭一疋、威嚇かしてしまへといふ氣になつて、お源は急に傳法な調子で高飛車に出た。

首ッ玉へ縄でもつけてと、犬かなんぞのやうに言はれて鶴吉はグッと、一ぺんに胸瘤が込み上げて來た。

「首ッ玉へ縄の繋るのは、うちの親方ぢやねえ。外に在る筈だ」

「それは誰だい？サア言つて御覽、出やう次第で勘辨ならないよ」

「ソ、それを俺に訊く前に、姐さんは、自分の胸に訊いてみるがいい……内の親方は、愈に釣られて、人殺しの手傳ひをしたんだ。だがもとく親方は、そんな惡黨ぢやねえだから後になつて、惡かつたと氣がついて毎日病氣になるほど苦しんでゐた、その親方が急に居なくなつたんだ。家にや年寄つたお母アも居るし幼い時から、親も及ばぬ御恩になつた弟子の俺らが、心配せずに居られるか、考へてみ

日曜　舊十月廿日　丙申　九月　佛滅　二十　開　廿　虚宿日

東京・本郷・御誠館

新京日日新聞　朝刊

この際の市民の義務

逮鼠・防火・暴利排擊

田村副總監談「最後の五分緊張せよ」

去月三十日以來國都を脅かしたペスト禍も軍官民一致の敏活なる防疫陣、迫擊戰に樂觀を許さぬ迄も愁眉を開く事が出來、十九日午後五時田村副總監は記者團に向ひ次の如く語つた、即ち「ペスト對策も愈よ十八日から逮鼠戰術に入つた、逮捕の爲には防疫當局から捕鼠器、捕鼠劑の配布をする事になつてゐるが現下の國都に於ては資材不足の折柄全市民に滿足を與へる樣な配布も出來兼るから一般市民に於ては各自が捕鼠器、捕鼠劑を購入し捕鼠に努める事は勿論だが如何にして完全なる絕滅をさすかの工夫が絕對に必要である、又火災についてもこの際特に注意して戴きたい、統計から見ると昨年よりは減じてはゐるが採煖期を前に一日一件平均の火災は好もしい成績ではない、殊に今惹起する火災は逮鼠の關係もあり防疫陣に非常なる支障を來たすから絕對に火災を出さない樣努める事が肝要である、なほ去る十五日から娛樂機關の閉鎖を施行してゐるが新患者發生を見ない現狀を維持すれば豫定通り二十日を以つて解除するが質屋及び古着類の賣買等の解除はまだ當分見合せる方針である、ペストに關聯し犯罪を言へばペスト禍發生と共に非常に少くなつたがペストを奇貨としてマスク、ガーゼ、消毒劑等に暴利を貪つた藥種商、藥局、日系四軒、滿系十四軒については嚴重な處分をする、今後此の樣なことなき樣全市の藥種商を招致し此際消毒品其の他藥品の販賣に公定價格を遵奉して貰ふ事を申合せたので此後は二度と此の種の犯罪はなくなるだらう」と晴やかな顏で語つた

國婦の慰問

遮斷區城内の住民におはぎ慰問や千餘人分のマスク作製防疫本部におくつてペスト防疫に奔走する國婦首都本部では更に新京他地區間の遮斷監視所にあつてペスト侵入防遏に默々として働く日滿軍關係の防疫戰士に感謝の慰問を行ふことになり、來る廿一日滿系、廿二日日系に對し赤木、岩坂の兩常務理事が代表となり、慰問品を携行慰問に赴く事となつた

日本新體制に即應

國民再組織を斷行か

武部長官示唆

十九日午後二時から總務廳に於て行はれた記者團との定例會見の席上武部總務長官は日本の新體制に即應する國民再組織の注目すべき必須性を看取し首腦者間に於て之が具體案を協議中でありその成案を俟つて近く關係各方面に諮るのではないかと見られてゐる、この滿洲國に於ける國民再組織案は民族協和に依る日本に於ける〃隣組〃と著しい類似性を有するものである、從つて人種の複雜な滿洲國にこの點を考慮して近く協和會との間に全面的協議が開始されることになる模樣である

翼贊會運動規約

昨日 全總務會に決定

【東京發國通】十九日大政翼贊會初の全總務會において正式に決定した大政翼贊運動規約全文左の如し

第一條　本運動は全國民の運動にしてこれを大政翼贊運動とす

第二條　本運動は萬民翼贊一億一心職分奉公の國民組織を確立し、その運用を圓滑ならしむるをもつて臣道實踐大政の實現を期するを目的とす

第三條　本運動を推進する機關として大政翼贊會を置く

第四條　本會の構成員は本運動の精神を體得し挺身これが實踐に當るものゝ中より總裁これを指名す

第五條　本會に左の役員を置く、總裁一名、顧問若干名、總務若干名（うち若干名を常任とす）總裁は内閣總理大臣の職にあるものこれに當り、顧問及び總務は總裁これを指名す

第六條　總裁は本會を統率し本運動を總理す

第七條　顧問は總裁の諮問に應ず

第八條　總務は總裁を輔け、本會に關する重要事項を審議す、常任總務は常時會務に參畫す、總務及び常任總務の任期は一年とす、但し再選を妨げず

第九條　本會の中央本部を東京に置く

第十條　中央本部の事務を處理するため事務局を置きこれを局及び部に分つ、事務局に事務總長一名を置く、各局に局長一名、各部に部長及び副部長、部員若干名を置く、事務總長、局長、部長及び副部長は總裁これを指名す、前各項の外局及び部の構成ならびに所管事項は別にこれを定む

第十一條　事務局に參與若干名を置き、中央本部の企畫及び活動に參畫せしむ、參與は總裁これを指名す、その任期は一年とす、但し再指名を妨げず

第十二條　中央本部に中央協力會議を附置す、中央協力會議に議長を置く、議長は總裁これを指名す、その任期は一年とす、但し再指名を妨げず、中央協力會議には總裁之を指名す、前項會議員のうち半數は道府縣協力會議の推薦したるものの中より總裁これを指名す

第十三條　總裁、事務總長並に協力會議議長に秘書を置く

第十四條　道府縣郡市町村その他適當なる地域に本會の支部を置き各協力會議を附置す、協力會議に議長を置く、支部の構成は別にこれを定む、支部の役員は總裁これを指名す

第十五條　中央及び地方協力會議員の任期を一年とす、但し再選を妨げず

第十六條　本會の經費は會費政府補助金その他を以てこれに充つ

第十七條　本運動に關する規約の制定並に變更は總裁これを決す

議會局初顏合せ

【東京發國通】大政翼贊會議會局役員の初顏合會は十九日正午より衆議院内で開會、前田局長以下正副部長、理事等七十九名出席、前田局長より大要左の如き挨拶があり午餐を共にしたのち各部に分れ今後の活動方針ならびに受持分擔を決定した

【前田議會局長挨拶要旨】議會運動の先達的職員訓練に……

國軍の恩人

協和會中央訓練所長　野村登龜江少將

會運動の先達的職員訓練に寧日なき協和會中央訓練所長野村登龜江氏は優雅な名に似ず日本軍の陸軍少將、滿洲國軍の陸軍中將である

將軍は明治二十一年高知縣の産、四十二年の步兵少尉任官といふから現關東軍參謀長飯村中將と同期だ、陸大を卒業後、教育總監部々員、步兵第四十四聯隊大隊長、臺灣軍參謀、步兵第四十三聯隊附、陸士教官、豐橋教導學校附、步兵第七十九聯隊長等を歷任し、北支事變に〇〇と〇〇を率ゐて勇躍出動、天津の守備に當り第十一師團司令部附少將として凱旋、第十八師團司令部附を最後に昭和十三年現役を去つたが、昨年一月滿洲國陸軍少將に任ぜられて興安軍官學校幹事となり、興安支隊長としてノモンハン事件に參加、戰場で中將に昇進し、全身數ケ所に敵彈を受けて後送され凱旋後間もなく現職に轉した、名は人を現はすのか、將軍は日滿兩軍の勇將とも思へぬ柔かな物腰で滿面に微笑をたゝへ

眞實な眞摯な熱烈な協和會精神の體得者を發成する方針で會務職員の再訓練を施してゐるのですが第一に自分自身が未だ協和會の新入生ですから抱負などを語る資格はありませんよ

と謙遜一點張り、そこで鉾先を變へて將軍の名譽ある四ケ所の傷痕を突いてみることゝした

ノモンハン事件には興安支隊長として精悍な蒙古兵を率ゐて出動し、日本軍の左翼にあつて攻擊態勢をとりつゝ前進したがホルステン河の南岸地區に於て先づ敵の機械化部隊と遭遇し、苦戰しつゝ遂に擊退の後、三角山を奇襲して最右翼の據點を奪取した、しかし、一旦後退した敵は執拗にも新兵器を擁し兵力を增加して反撃し來り、三方から猛擊をうけて惡戰苦鬪、辛うじて陣地を死守したが、この戰鬪で同行の野田顧問は重傷を蒙り自分も亦、敵機の洗禮に左腳顎かけて破片の傷數ケ所をやられてしまつた、蒙古軍は建設日淺く、訓練不充分なはよく戰つて呉れた、自分の負傷等は問題でないが、忠勇なる蒙古兵をこの戰鬪で多數失つたのは眞に心苦しい次第であると語り終つて將軍は亡き部下の冥福を祈るやうにヂッと双眼を閉ぢた【寫眞は野村氏】

政府と協和會　人事の交流實現へ

兩當局間に覺書交換

滿洲國政府は建國の本義に徹し道義的獨創國家建設のため政府と表裏一體關係にある協和會と行政機關との有機的運營の緊密化を益々強化し以て政治の運營を合理化し重要政策の滲透を期するため目下總務廳各處長並に協和會中央本部に於て其の具體的方法につき愼重檢討を重ねつゝあるが右行政機關との調整問題と不可分の關係をもつ協和會と政府の人事交流問題に關しかねて折衝を重ねた結果、兩者の意見の一致を見るに至つたので、この程大要左の如き「政府協和會間の人事交流に關する覺書」を作成した……

第四・四半期物動改訂

協和會全滿工作員會議

醫師のゴミ

ペスト禍に躍る奸商

總本部國防會館に移轉

有菌鼠四匹發見

米配金を　ペスト義金

隔離解除はきのふ三名

翼贊會初總務會

へ義俠

大都ホテルの篤志

ペストの慰問金

水路を確保

安慶、碼頭鎭の敵を猛爆

碼頭鎭、安慶の敵を粉碎

我經濟使節　海防に入港

土肥原中將離連

式年慶祝代表　豫定通り出發

人事往來

井野農林次官選

ある佛教信者の見たる 石原莞爾將軍

伊地知則彦 (5)

その次の日から私は、閣下から書いて戴いた「常樂於靜處」の文字を枕邊の壁にはりつけた。

この文字を見つめてゐると私の心が不思議に靜かになつて澄み渡つてくるのであつた。氣持が落ちつかない時、又はもろもろの苦惱が私をせめてくる時に、私は此の壁の文字に瞳を凝した。するといつでも私の心は清らかに晴天の如く澄み渡るのであつた。

こんな日が何日か續いて……そして一月二月と經つ間に、私の病が奇妙に快方に向ひつつある事に氣がついた。心が落ちついて來た爲に心身の安靜を得た事が原因であつたのか。とにもかくにも不思議な現象が起つて來たのである。私の病は日一日と快方に向つて行つた。

それから……幾月かの後である。私のお贈りしたパンフレット「佛語師不虛」に對して閣下の御禮狀が來た。その中に「佛天の加護により全快も遠からざる事と確信仕り候」としるされてあつた。私は閣下を非常に信頼してゐるので、普通だつたら月なみな病氣見舞の此の言葉にいたく感激したのである。

閣下が、俺の病は佛天の加護でキット遠からず全快すると確信すると云はれた。いままで閣下の申された事は、自分の知つてゐる範圍內では嘘は一つもなかつた。閣下は決して心にも無いお世辭を言つたり氣休めを言つたりなされる人では無い。閣下は心からさう信じてゐて下さるのだ。……「佛天の加護がある」と。

閣下がさう信じて下さるのなら間違ひあるまい、俺の病は蛇度遠からず全快するだらう、まことにをかしな言ひ方であるが、私はその時さう信じた。そして俺は決して死なぬであらうと信じ、俺の病は蛇度全快するであらうと信じて疑はなかつたのである。

もう死なぬぞと決まり、近く全快するぞと信じた。此の信じかたはいいかげんの口先だけではなくて、心の底からさう信じてしまつたのである。人間の信念の力は偉大であるといふ話は常に人にきかされてゐたが、こんなにまで、額面に偉大であらうとはその時まで思つてゐなかつたのだが、ともかくも人間の心の作用は時に不思議な力を出す事を私は自分の身について實驗したのである。それは決して、ただ人間の「心の作用」ばかりではないと思ふ。私の心の作用をその絕對の確信の境地にまで導き得た一個の信仰の力であると思ふ。

私の此處に云ふ信仰と云ふ言葉は、大乘佛教の中の法華經、法華經の中の本門の信仰であり、もつと手つ取り早く言へば日蓮大聖の敎義に對する信仰である。そして私をして日蓮主義に基く法華經の信仰にまで導いて下さつたのは、石原將軍であつた。

時事解說　ヒットラー・ユーゲント（中）

現在機械化部隊の隊員は十萬に上るが、一九三八年度には、ヒットラーユーゲントのうち二萬五千人に自動車運轉免許狀が下附されてゐる、國防軍機械化部隊の後繼者はかくして養成されるのである飛行隊員はやはり十萬あるが、そのうちから特に空軍に適したものを選びこれに豫備訓練が施され空軍の後繼者が養成される、飛行隊には滿十一歳から入隊することが出來るが、最初は子供の最も喜ぶグライダーの模型が課せられ、十四歳になるとグライダーの訓練が行はれ、操縦法の練習とともにグライダー製作所で製作を學ぶ

通信隊の隊員數は七萬であるが近くその二倍に增員されることになつてゐるその隊員は電信電話ラヂオの製作操作モールス信號手旗信號明滅信號等に關する基礎的訓練を受けるが、時に暴風雨の時野外で練習したり、敵に見つからぬやうにして電線を敷設することを學んだりするのは、青少年の興味を強くそゝる上に自己の能力に對する自信を深めるのである

ドイツ人は一般に健康といふことを非常に喧しくいふがヒットラーユーゲントは保健衞生にも萬全の策が講ぜられてゐる、即ちヒットラーユーゲントには現在二千餘名の醫師、八百名の齒科醫、五百名の藥劑師が專屬して居つて、これは各地の病院と協力して四萬の衞生隊員と三萬五千の補助看護婦とを養成してゐるこれらの醫師や衞生隊員は、常に男女團員の健康に注意しスポーツその他各種の訓練を行ふ場合、旅行、夜營等の際には保健衞生上の指導監督に任ずる、またヒットラーユーゲントの指導者に對しては、各年齡における肉體的能力の限度等に關する敎育を施してゐる、これら衞生隊員は必要な衞生材料を常備して居り、大部隊は衞生自動車までも備へ、簡單な手術さへも行へる用意が出來てゐるがこれは戰時にはそのまゝ利用が出來るのである、何事においても一旦動員となればドイツでは必ずしもヒットラーユーゲントに限らず平時の施設が直ちに戰時に役立つやうに整備されてゐるのであつてその組織の見事なことは驚嘆すべきものがある

愛路談義（上）

滿洲野道男

本年度實施事項として準則案大要を示し、これに基いて各省令として規定の制定を行ふ方針を採つたが、これはさきに定められた要綱を全面的に實行に移すことは、豫算の關係で出來難いためで、その大要は

一、市街村に各々一の道路愛護團を結成するを原則とす

二、作業方法に關する標準を設く

三、作業は年二回以上實施し（本作業に對しては所要器具を當分の間貸與し、係員を派遣して指導に當る）

四、省長は常にその區域內の道路に關する奉仕精神の厚薄及び道路の狀況を視察しその成績を考査し、一ケ年の成績優良なるものには褒賞を授與す

五、道路に關する篤行者に對しても同時に審査表彰するものとす

などで、これと同時に道路愛護團及び聯合會、協會の結成が計畫され、現在まで愛護團は全滿に約四百四十團の正式結成を見るに至つた。このほか愛護團と性質を同じくしながらも正式結成を見ないものが奉天、安東その他に相當數あり、近く正式結成される筈である、協會聯合會もこれに伴つて結成される機運にあるが、將來は全國的に統制あるものとして、日本內地の道路改良會の如く組織あるものにまで發展さすべく目論まれてゐる。

更に愛護週間の實施は、世界各國において實施せられ南米のボリヴィアの如き弱小國においてさへ毎年十月五日を愛護日と定め、國民總動員でこれを實行に移してゐるほどである。

滿洲でも全國一齊に實施すべきであるが、地理的氣象的關係から、省別にこれを行ひ愛護團體を初め學生々徒その他各種團體が參加して實施、中央からも首腦部が親しく歷訪して成果を擧げた。

このほか本年は愛護奬勵策として、ポスター圖案、標語小學兒童の綴方等を全滿をはじめ日本からも募集、豫想外の效果を擧げ得たのである。

交通部道路司では、この愛路運動實施に當つて康德六年度における各地の愛路狀況を詳細に調査研究し、實情に即した無理のない計畫を樹立したのであるが、この調査による各省別の愛路實績を見れば大略左の如くである。

奉天省＝奉仕精神の觀念は相當普及されてをり、十一月實施された週間では、參街加村數二二二〇、延人員四七七七九七人、作業道路延長七二九五八三二粁に達し、大いに見るべき成果を擧げ、賞金も八六八〇圓を授與してゐる、今後正式に團體を結成すればますます好成績を收むるものと期待される。

吉林省＝愛路思想啓蒙によるセン傳工作と兩者併行の實施策を樹て、毎月一日を愛路日と定めたほか春秋二季に定期作業日を定め、相當の成績を擧げてゐる。特に双陽、扶餘の二縣は模範的優良縣である。

龍江省＝前二者に比し相當普及の度が劣り、且つ實施方法に指導性がないが、個人的に篤行者があり將來に期待するところ多い。

熱河省＝地理的環境は相當普及困難の狀態にあるが、砂利その他修理材料が手近に入手出來るので、非常に有利である。

濱江省＝現在全滿一の愛路省である。個の組織が徹底してゐてセン傳工作もかなり行き亘つてゐる模樣である。本年度は一八三團を結成し、濱江省三ケ年計畫を樹立するなど見るべきものがある。

錦州省＝北支よりの關門を控へその接觸が多いので文化的には早く開けてゐるのであるが、六年度には見るべきものがない。然し興城、綏中の二縣は他の範とすべき熱心さを持つて愛護に當つてゐる。

安東省＝愛護團はないが、奉天、吉林に劣らぬ程度を示し、昨年張國務總理が寬甸縣を視察された際は特に優秀なる者七名が感謝狀を授與されてゐる。昨年度の奉仕作業の結果粁當豫算七〇圓で約倍額の效果を擧げてゐるのは偉とするに足る。

間島省＝春秋二回農閑期利用の定期作業に實績大いに見るべきものがあつた。

通化省＝未だセン傳工作に止まり、一部を除き見るべきものなし。

三江省＝愛護團五〇の結成を見、相當熱心であるが、今後の發展に期待するところが多い。

牡丹江省＝愛路團二一團結成豫定のところ三九團の結成を見、從來の一七團と併せ五六團の活動的なる一面を示してゐる。

北安、黑河、東安各省＝目下準備時代で、今後に俟つもの多い。

興安各省＝東南省はそれぞれ相當なる啓蒙工作に專念し、南省において九團の結成を見てゐる。

以上が滿洲國における道路愛護の概略であるが、結局道路を愛することは國民の義務であり權利であるべきで深い愛情を道路に示して飽かないならば、政府が百億の巨費を投ずるより以上の效果を擧げ得るのである。

一人一人の愛路精神が、やがて國民の愛路精神であり愛國精神であることに思ひ至すなら、新體制のあらゆる運動とゝもに愛路運動が自らなる出發を初めるべきが至當なのである。

らくがき帖

筆者は赤瀬川採金理事

朝風園　滿系文學人の一傾向

―日向伸夫氏に答へる

日向伸夫君が滿日に書いてゐる一文を讀んだ。日向君は滿系文學人たちの間に黨派の爭ひがあるといふことについて心配してゐる。それは宜しいのだが、日向君にはなほ知識の不足があるやうだからこゝに一言して置きたい。

日向君は、新京の『藝文志』一派と奉天の『文選』同人とが爭つてゐると解してゐるやうである。しかしそれでは充分でないのだ。新京に文藝叢刊刊行會といふのがあり（或ひは『大同報』派乃至『斯民』派と言つてもいゝ）そのグループの諸君も『藝文志』の諸君と對立してゐるのである。この事は最近の『大同報』や『斯民』それから『華文每日』に出る文藝關係の記事、論稿を見れば明瞭である。

筆者とてもかねがね斯うした謂れなき爭ひについてはこれを不滿に思ひ、警告して來たのである。眞に文藝の進展建設のためにする論爭ならいゝ、でなくて生活態度とか黨派結成などを惡罵漫罵する度量の狹い、醜い爭ひは止して貰ひたいと思つてゐる。

それから又、私が『藝文志』一派と仲がいゝ、そのため『藝文志』一派のもののみを辯護すると言はれてはゐる。仲がいゝといふのは事實だ。しかし私はその他の諸君とも決して仲が惡いといふことはない。又飜譯に當る場合には、公平に考へて優れたと思ふものを譯してゐるつもりである。要は作品そのものの問題である。くだらぬ偏見、嫉視は私の迷惑するところである。（大内隆雄）

隨筆　大同大街の秋

李順輔

こよなく愛する秋―

僕は、やがて冬になるべきこの秋をこよなく愛する。淋しい秋を。――

それこそ一點の雲だも見えない、たゞ青い高い寒い空にうす煙りが涯の方にたゞよつてをるばかりだ。

街は複雜だ。僕の視界にあるものは實に多種多樣だ。三輪快車が、まじつてゐるのも最近の風景だ樣々の自動車の群の中を一臺の[illegible]車がすべつてゐる。秋の夕陽を浴びて――。

秋の夕陽。それは今、向ふの公園の森の陰影をわびしく彩り、直ぐ向ひ側のビルディングを直線の陰影で彫つてゐる。

はいてゐるのかゐないのかわからないやうな薄い絹の靴下で眠り氣の眼差もだるくおとして街を歩前いてゐた女の人達の靴下の色が變つた。その質が變つたせゐだらう。さう云ふと、僕も毛のセーターを着始めたのがずつと前のことだつた。

マスクをした人のたまたま見えるのは、二三日前から出たと云ふペストのためらしい。

葉がつくと、街路樹の葉が大分黄色くなつて來た。市公署の人夫達が掃き集めてゐるのは落葉だらうか。

落葉――。

悲しい秋の象徵だ。一葉二葉、あゝいふ風に落ちて、しまひには枝ばかりが烈風にさらされなければならなくなるのだ。逆に、夏は葉がなくとも冬には葉がついてゐてよささうなものだ。――阿呆の愚痴だ。

新聞を見てゐると、もはや霜の降りた處は多い。齊齊哈爾あたりは初雪も降りたさうな。

國通の二階の窓に灯がついた。何時の間にか陽も沒した。地球は紫になつてしまつた。そしてだんだん濃くなつて行く。白い鴿が二羽、眼の前を飛んで行くもう少ししたらいくつもの鳥の群も集まるだらう。無慮數萬羽の鳥のたはむれ。それは、又淋しい秋の宵空を飯はすであらう。何とにくらしい鳥どもの群だらう。何故、あの淋しさを消してしまふだらうか。おゝ、飛んで來た！一羽、二羽、十、百！……。

歸らう下宿に歸つて蒲團をかぶつて寢よう。それが一番だ。あの、鳥どもの惡性を眺めるよりは！……

待て！今日は、下宿の主人の、あの婆さんが僕を待ちあぐんで居る日でないか。さうだつた！だが僕のポケットは今日もからつぽだ。

此處は滿洲だつたなあ。（一九四〇・一〇・初）

吾等の行く道

清澤洌

（三）

この三同盟の國際的意味は日本が從來の立場から更に前進したことである、世界大戰以後の幣原外交を中心にする外交は國際主義を基調にしたものであつた、それが滿洲事變を契機にして日本は國際聯盟を脱退し、東亞に立てこもることになつた今回の三國同盟によつて日本は再び世界の舞臺に躍り出て獨伊と提携し世界の新秩序建設に邁進することになつたのである。

これは當然な進み方だ日本のやうな大國が世界と關聯を斷つて生活出來るものではない。たゞ前回と今回と異つて居るのは、以前は世界各國と平等な交際をして居つたのに、今回は獨伊といふ特定國を選んだだけだ。

それならば今回の日本の政策で、英米とは絕對に相容れないかといふと、必ずしもさうではない。日本は地域的な世界秩序を提唱してゐるのだ。歐洲は獨伊、東亞は日本といふ如くにだ。アメリカは北南米兩大陸に覇を唱へたつて差支へない。日本は嘗て、その事を抗議したことはない。英米が大東亞における日本の指導位置を承認實センすればいゝのだ、國家は永遠に對抗するものではないから將來さうした點に解決を見出すかも知れないと思ふ。

（四）

最後に國民としては、飽くまで冷靜に國際關係の推移を見守るべきで、空騒ぎは百害あつて一利がないのである。日本は常に約束に對して誠實でなくてはならぬ。一度び日獨伊同盟が出來た以上はこの條約の遂行に眞面目であるべきだ日本は嘗て日英同盟を有したがその時にも、國家として違約したり、對手を賣つたりしたことは絕對になかつた。

日本が武士道國として內外に認められたのは、その誠實からである。正直は國家にとつても、個人にとつても最上の政策だ。

だが同時に日本は大國として、ドッシリ構へて居るべきだ。それが世界の尊敬を買ふ所以なのだ。僕は防共協定の最高潮に達した時にドイツ及びイタリーを訪問したが、どこにも日本國旗が竝べて居つたのを見たことがなかつた。また日本からは、盛んにヒトラー總統やムソリーニ首相に電報や贈物を送るのであるが、獨伊の新聞社や個人が近衞[illegible]に祝辭や贈物を送つて來た[illegible]の例があるのであらうか。日本も日本人も世界の大[illegible]國として自識しなくてはならぬ。外國から物欲しさうに見えたり劣等惑が露出したりするやうなことが假りにもあるとすればそれは決して日本の信望を高める所以ではな[illegible]

入選綴方（1）　觀光國都

岡田鞆惠

滿洲國が生れて新京が國都と定められてから今年で八年になります日本、朝鮮、ロシヤ滿洲、蒙古の五族が協力して作り上げた今日の滿洲國の國都新京には昔のおもかげは少しもうかがはれません。草深い長春の町を知つて居られる方は其のすばらしい躍進ぶりにきつと驚かれる事でせう。

先づ驛前に立つと綠の芝生の美しい圓形の廣場が目につります。其の前には滿鐵支社、ヤマトホテル、滿人の大旅館等の大きな建物が建竝びアスファルトにかためられた道路は放射狀にのびて居ります。

中央通りは其の名の通り驛の正面から眞直に南にのび、其の兩側には、澤山の商店、中央郵政局、滿洲新聞社、滿洲國通信社、關東軍司令部、憲兵隊本部、康德會館、海上ビル、興業銀行、三中井百貨店其他三階四階建ての大きな建物が立ち並んでゐます。新京神社も中央通りにあつて天照大神、大國主命、明治天皇の三柱の神をおまつりしてあります。さうして春秋二回には盛んなお祭が行はれます參拜する人は日本人ばかりではなく澤山の滿人の姿も見うけられます。

中央通りは遠く南嶺まで續いてゐます。南嶺は滿洲事變の時敵兵數千をものともせず勇敢に戰つて小河原隊長、倉本中隊長をはじめ澤山の戰死者を出しつひに敵を全滅した激戰の行はれた所です。

寬城子も南嶺におとらぬ烈しい戰のあつた所で勇士の戰死された場所には立派な記念碑がたてられてあります。お線香の煙がゆらゆらと立上る記念碑の前に立つと「兵隊さんありがたう」と心から頭の下る思ひがいたします。忠靈塔には滿洲國建國につくされた武藤元帥をはじめ一千四百餘柱の英靈をお祀りしてあります。護國の神となられた英靈はいつまでもいつまでも私達を守り國都の立派にひらけて行く有樣を見つめて下さいます。私達の發展を喜ぶと共に澤山の兵隊さん方の尊い犧牲を本當に有難く思はなければなりません。

順天公園附近には國務院、司法部、產業部などの立派な建築物が竝びこゝで滿洲國の政治が行はれます。それらのお役所を圍んで白山公園、牡丹公園、順天公園、黃龍公園、大同公園などがあり、春はあんずの花も美しくさきそろつて私達を喜ばしてくれます。

大同公園にはイタリーのムッソリーニ首相から國都の爲にはるばる贈られた牡狼の像が平和な姿で散歩の人々を迎へて居ります。中央通りにある兒玉公園は新京で一番古い公園で日露戰爭の勇將兒玉大將のお名前をいただいてあります、大將の馬上姿勇しい銅像が入口にそびえ立つて居ります。夏の間ボートを浮べたりつりをしたりする池も冬になるとすつかり凍るので子供も大人もスケートを盛にしてこほりつくやうな寒さもふきとばして了ひます。

吉野町は新京銀座とも言はれ大小の商店がたち並び夏の夜は夜店も賑ひ人通りがおそくまでたえません。

四、五年前まではぼうぼうとした草原であつた南新京附近も住宅がどんどん建てられ南新京驛は將來中央停車場となるのださうです、五年後十年後の新京はどんなでせうか私共第二の國民は何時までも滿洲にとゞまつて少しでもお國の爲につくさなければなりません。（櫻木小學校五年生）

世紀の英雄 (176)

番伸二　高田よしを畫

カイ太の家（一）

浪速町の果實屋の前で今夜も新聞を賣つてゐたドンちゃんが、早く賣り切つて、飛んで歸つてきた。

『兄貴、おみやげだよ！』

ぽんと投げ出した新聞紙から、餘り上等でないバナナが澤山とび出した。

へたを離れた、ばらばらのバナナだつた。

『果物屋の姉ちゃんが、また呉れたんだよ』

さう云つて得意さうに小鼻をひらいてゐたドンちゃんが急に知らない女の人がゐるのに氣がついて、

『こんちは』

とお辭儀した、

みんな、その頓狂な樣子に笑ひ出した。

純吉もカイ太も、坂口鐵も塚田源太郎も、そして治子も

源太郎の妹の美惠子も、あゝそれから、佳木斯にゐる筈の直子さへも此處にゐる。

狹いカイ太の家は滿員だ。

さて――此の物語の主要人物殆ど皆が、どうして此處へ急に集つてしまつたのか、作者は、簡單に說明しておかなければならない。

まづ、順序として――

カイ太とドンちゃんの二人ぐらしの此の家へ純吉が北公園で話し合つた夜から此處へ來てゐることは前に話した。

その三人の少年のところへ坂口鐵が轉げこんできたのである。

大連埠頭の待合所で、カイ太が鐵と逢つた、あの日の夜――坂口鐵はカイ太の家へきて、少年義勇軍の話をきゝ、彼もそれに志願したいと云ひ出して――こゝに、純吉、カイ太、ドンちゃん、鐵の四人が千振から來る塚田源太郎を待つことになつたのである。

坂口鐵が少年拳闘家として日本選手權を獲た名聲も――あゝ、その「名聲」と云ふものゝ儚なさを年少にして知つた彼は、拳闘家の途の、一躍登りつめた頂上が、一路、すべり落ちる急坂に通じてゐるのを知つた彼は、カイ太の家に身を寄せて、今では義勇軍を志願する、無名の少年にすぎなかつた。

さて、その四人の生活へ待ちに待つた塚田源太郎が訪ねてきた。

彼等少年を孫呉の少年義勇軍訓練所へ迎へる爲めに。

而も彼は、佳木斯に寄つて純吉から賴まれてゐた直子を大連へ連れてきたのだ。

治子が大連にゐることを知り、直子が治子の妹だと云ふことを知つて――直子を姉に逢はせるため、わざわざ佳木斯に寄つて直子を連れ、カイ太の家へ來たのであつた。

さうして、塚田源太郎は、大連へ來る前に千振村から手紙を出し、妹の美惠子を呼び寄せたのである。

『兄さんは近いうちに大連へ行くから、大連でお前と逢はう。波止場迄俺が迎へに行く』

さう出しておいて、源太郎は直子と大連に來た。

一日―待つてゐた妹の美惠子は遂に大連へ一人でやつてきた。

そこで、四人の少年たちの家へ、塚田源太郎と妹の美惠子。それに直子迄が加はつて急に賑やかになつた「カイ太の家」

そこへ又、今日、治子が、どうしてきてゐるのであらうか。

家庭

不眠症に惱んでも藥は成可く服むな
催眠劑は併用が合理的

一概に眠れないと言つても、不眠にはいろ／＼の原因があり、種類があるものです、たとへば寢つきの惡いもの、寢つきは良いが早く覺めてしまふもの、眠りが淺くて夢ばかり見るもの、夜中に度々眼が覺めるもの等いろ／＼とありますが、かうした人達が催眠劑によつて、無反省にこれを運用してゐるのをよく見かけますが、まことに危險なことで寒心に堪へません、何故かといひますに、催眠劑はすべて劇毒藥であるからです、そして催眠劑には寢つきをよくするのと、後になつて眠りを深くするのと二種類がありますが、これを適當に調合して貰つたものを用ひないと効果が薄いのです、それも適當に調合されたものをのむにしても、醫師に指定された時刻に、指定された分量をのまなければなりません、勝手に分量をふやしたり、夜なかになつて眠れないからといつて、あわてゝのむやうなことは効果が少いばかりでなく、朝になつて眼がさめたときに體がフラついたり、頭痛がしたりして不愉快な目にあひます、催眠劑を用ひるのは最後の手段でありますから、藥店で賣つてゐるものを用ひるにしても、出來るだけ副作用の少ないものを、少量服用すべきです、又一つの品に固定せず、種類は色々と代へて用ひ、二種、三種の催眠劑を併用したりする方が習慣性になりませんし効果もあります、のむにあたつて粉末で出來たものをオブラートに包んだり、錠劑になつてゐるものをそのまゝのむと體内で溶解して吸收されるまでに時間がかゝるため翌朝になつて漸く藥がきいたといふやうなことになりますので、粉末はそのまゝ、錠劑は口中で嚙みくだいて、なるべく熱い湯でのむとよろしいのです

いくらでもあるねむる方法
但し根氣が必要

でも出來るだけ催眠藥を用ひることは避けたいと思ひますので、眠れないで困るといふお方にいゝ方法を敎へませう昔から行はれてゐる方法に、數字をかぞへるとか、物を凝視するとかが行はれてゐますが、最も効果的な方法として足の疲れを去る方法と同樣に足を冷たい水と熱い湯の中へ二、三分間づつ三回位交互に浸けると、身體中の血液が動き出していゝ氣持ちになり、頭の血を足の方へ下すことによつて睡眠を促し、眠りにつくことが出來るのです、又、滿腹時の睡眠感を利用する方法があります、これは胃腸を害さぬ程度に、なるべく消化のいゝものを幾分多く食べると、滿腹になるとともに眠くなるものです、この方法を用ひる場合は、胃腸の弱い人は消化劑をのんでおきます、又玉ネギを輪切りにしたものを枕の傍におくと、ネギの強い匂ひに刺戟されて自然に眠くなります、も一つはふとんの上で頸の運動をする方法があります、これは、首を前後左右に五分間、次に左から右、右から左へと廻轉させます、かうすると首の筋肉がやはらぎ、頭の鬱血が循環し出して自然に睡氣を催して來ます、以上は神經衰弱の人に効果があります、此のやうにして自然に眠る習慣をつければ、どんな不眠症でも快癒してゆきます、一度試みて効果がなかつたからといつて、放擲するやうでは駄目です、根氣よく氣永に根治したいものです

重寶帳

飲食物の中毒 飲食物の中毒で（食べてから卅分乃至一時間位の間に氣がついた場合は鹽水などしく飲んで、後に咽喉に指を入れて胃の中のものを吐いてしまつてから、次の手當をいたします、鮪や鰹に中毒した時は黑砂糖をたべると効を奏します、時間の經つた場合は黑砂糖をドン／＼與へ、下劑を併用します、たこ、はまぐり、しじみ等にあたつた時は上等の胡麻油を小盃に一、二杯のみます、肉類の場合は蜜柑の皮二匁、大黃一匁、甘草二匁を煎じてのみます

☆☆だんらん☆☆

大根の榮養價
皮をむくな 葉を棄るな

大根おろしを作るとき皮をむくことは意味がありません、大根汁に澤山含んでゐるビタミンCは皮に近い部分に多く含まれてをりますからよく洗つて皮のまゝおろすことが榮養的です、それから大根の葉つぱも捨てないやうにして下さい、いろ／＼工夫すれば堅い葉を軟かくすることも出來ておいしい調理法も考へ出せる筈です、大根の葉にはビタミンAが澤山含まれてをり、夜盲性や發育不良に陷ることを助けてくれます、このビタミンAは動物性食品の中には澤山含まれてをりますが植物性食品には比較的少ないものですからこの意味で大根の葉は貴重なものといへるのです

濁つた音やふくらんだ底
罐詰の不良品鑑別法

罐詰を開けないで外部から良否を見分けるのは一寸難かしいが、左の方法に依ればあまり間違ひありません、先づ罐の錆びたもの、ひどく歪んだもの、あまり古ぼけたもの等は避けること、罐詰の底や蓋が僅かに凹んだのは製造する時に加熱殺菌して熱いうちに罐をふさぐのであとで冷却するにつれて自然に凹んだのですから寧ろ安心ですが、反對に蓋や底のふくれてゐるものは腐敗の爲に内部に瓦斯が發生してゐる場合が多いから不良品と見てよいのです、罐詰の底には一ケ所蒸氣を拔いた孔のあとが見えるのがありますがこれが一ケ所で無くて幾つもあるのは不良品です、又木の棒で叩いて見て鈍い濁つた音のするのは不良品で澄んだ音のするのは良品と見てよいのです、開罐して瓦斯や惡臭を放つもの形がひどく崩れたり酸味や澁味のあるものは勿論食べてはいけません

献立 サバのスンパ汁

鹽鯖を頭も身も骨も小さく切り、別に大根を皮のまゝ四つ割りにして、小口から切つて一緒に鍋に入れ、そのまゝ煮立て、鯖の鹽味だけで食べます、經濟的であり簡單で、なか／＼美味しいものです、鹽鯖がないときは生の鯖の頭、中落、身のカマのところ、尻尾などを小さく切つて強鹽をして一時間以上一晩位おいて使用致します

りんごの良否鑑別

林檎は形の正しく大きいものが美味しく、一方に片寄つてゐたり、左右の色が餘り變つてゐるものはよくありません、持つてみて割合に重く、爪ではじいてみて音のよいものは割ると泡が出ますが、これが林檎として一番値打のあるものです、軸のつけ根のくぼんだ所にチリが澤山入つてゐるものは皮をむいてもチリ臭いことがあります

漆器の手入れ

重箱、お椀等漆器は使用後油を少しつけた絹布でよく拭き袋又は布で包み空氣の餘り流通しない冷所にしまつておくやうにします、日光が射し込んだり、濕暖な場所等におくとひびを生ずることがあります

婦人隨想
向上する兒童文化へ

今般、東京では學校敎育の補助として、時局下子供の世界に缺くことの出來ない「兒童文化」の向上發展を目指して、關係各團體が大同團結を行ひ「日本兒童文化協會」（假稱）を設立することになりました、これは童話作家協會、日本兒童文化協會、少年文藝懇談會、童話協會、少年文學作家畫家協會、全日本映畫敎育研究會、少年文化研究所等の既存各團體が一致團結して躍進する日本の少國民に相應しい新しい「子供の國」の建設に乘出すことになつたもので、小川未明、城戸幡太郎、坂本都郎、波多野完治、百田宗治、山本有三氏等兒童敎育の大家が發起人となつてをります、そして過日第一回の懇談會を開催して、兒童讀物、映畫、放送、音樂、紙芝居、玩具等兒童文化關係の各部門から代表者參集して、種々檢討を加へましたが、これまで最も自由主義の惡い方面が瀰漫した子供の文化を是正し、こと兒童文化に關しては營利を排擊して綜合的な形をとり、たとへば童謠と繪とは常に一緒に出るものであるに拘らず、これまでは作者側の良心等は抹殺されて、文も繪も業者側の意志によつて思ひ／＼に作られてゐた場合が多く、從つて總體のレベルが非常に低かつたことの弊を一掃し、又、現在兒童文化に盡瘁してゐる二、三の人の個性的な良さを充分に高揚して兒童文化の向上に努力することとなりました、此の結果は、讀物を始め、玩具その他全部日本より送られてゐる在滿日本學童の文化向上にも、あづかつて力あることゝなり、期待されてをります（高梨雪雄）

ビフテキ

ラヂオ

あさ

七、〇〇（東京）史蹟めぐり「蕃弦道館」他 福田幸二郎、他
七、四〇（新京）ニュース
八、二〇（新京）氣象通報
八、二五（新京）朝の音樂（レコード）合唱と管絃樂 一、歌劇ホフマン物語より（オッフエンバッハ作曲） 二、歌劇「椿姬」より（ヴエルデイ作曲） 唱 ベルリン國立歌劇場合唱團（管絃樂）ベルリンフイルハーモニツク管絃樂團
八、四五（新京）體操
九、三〇（東京）子供の時間 うたのおけいこ「大東亞行進曲」（百田宗治作詞、弘田龍太郎作曲）中野 義見

ひる

一〇、〇〇（東京）週間を顧みて（錄音）
一〇、四〇（甲府）芝居する村（錄音）
一一、五〇（東京）經濟市況
一一、五九（東京）時報
〇、〇五（東京）管絃樂「魔の森」他 中央交響樂團
〇、三〇（東、新）ニュース
一、〇〇（東京）ラヂオドラマ「山城素襖」中村彥子
一、四五（大阪）ラヂオドラマ 澤村十次郎、他
▼「土の聖者二宮尊德」 山田 隆也、他
二、三〇（東京）和洋合奏（題及び出演者未定）
二、五九（東京）北米西部向海外放送 歌謠聯曲「日本の旋律」キング合唱團、他
三、三〇（新京）氣象通報
四、〇〇（東、新）ニュース
五、三〇（新京）レコード ピアノ獨奏 奏鳴曲ロ短調（リスト作曲）コルトー

よる

六、〇〇（奉天）子供の時間 滿洲少年物語三題（一）「お母の喇叭鼓隊」（山田健二） 奉天トモダチ會
六、二五（營口）趣味講演
七、〇〇（東、新）ニュース
七、三〇（東京）週間の動き 告知事項、今晩の番組
八、〇〇（大阪）・晴國の夕・ 龜井貫一郎 一、國民歌謠（題及び出演者未定） 二、浪花節「晴國の椎」（小森盛作、松本英一脚色）宮川松安 三、音樂劇「曉の鷄冠山」
九、三九（東京）時報、ニュース、郷土だより、ニュース解說、氣象通報、告知事項、明日の番組
一〇、三〇（新京）今日のニュース
一〇、四〇（哈爾濱）北滿の時間（露語）

子供の時間（前九・三〇）子供の時間、うたのおけいこ「大東亞行進曲」（後六・〇〇）子供の時間、滿洲少年物語「お母のラッパ鼓隊」

兒童 勉強の習慣

學校へ行かない小さな子供でも、よく兄さんや姉さんの眞似をして「僕もお勉強するのだ」といつて机に向つて繪なんか書いてゐることがあります、然しこれは本當の勉強ではありません、眞似事遊びの勉強で、つまり遊びごとなのです、餘程知識の進んだ、智的興味の深い子供でなければ、學校の子供でもお勉強といふことは一つの定められた仕事、大げさに言へば一つの義務ともいへるものですから、遊びとは全然違つた態度で向はなければなりません、このやうな遊びの氣持と違ふ態度で向はなければならぬといふ心構へが兒童について來るのは、遲くも滿五歲頃に芽生え始め、六歲頃には立派に出來上つて來る筈です、此の心構へが勉強の根本となり、小學校にあがつてから、たとひ字を書かなくとも、本を讀まなくとも時間を定めて何か學校であつたことをお母さんに報告するとか、繪を書くとかいふやうなことからはじめて、きまつた仕事の時間を作ることが大切です、そして段々智的な事への興味へ導いて行けば、それが立派な勉強の時間となり規則的な習慣が努せずしてつけられる筈です

衛生 呼吸脈搏の測り方

男子は普通腹式呼吸といつて、呼吸の度びにお腹を動かし、女子は胸式呼吸で胸を動かすものですから、男子の場合、お腹の上に靜かに片手をおき、女子の場合には、みぞおちに片手をおいて、片手に時計を持つて見ながら、一分間何回かを測るのであります、健康な人は一分間に十七・八回位、生れたばかりの赤ちゃんは四十回位、普通一呼吸する間に脈搏は四回打つといふ割合になつてゐるものであります、なほ赤ちゃんなどの場合で、呼吸をしてゐるかどうか、はつきり判らぬやうな時には、鼻の穴のところへ、眞綿の切れ端しか、鳥の羽などを靜かにぶら下げてみると、幽かに呼吸の度にそれが動くのを敎へるのです、脈搏は一般に子供の時には多く、大人になるに從つて減り、又再び年が寄ると次第に增えて行くのが普通です又、男子よりも女子の方が一般に多く搏ち、背の高い人より低い人の方が多いのが普通であります、平均して健康な大人は男子一分間七十一、二回、女子七十一回から八十回位で、どんな病氣にかゝつても、一分間一番多くて百五十回、一番少くても四十回で、多くても少くても、それを越ゆれば死ぬといはれてをります、人間の體の中で脈搏の一番測り易い場所は手首、こめかみ、足首等でありますが中でも普通には手首の拇指の附根の所に、ひとさし指、中指、くすり指の三本を輕くあてゝ測ります（カツト參照）

列車時刻

【發】

奉天方面行	時刻
大連行 急	三・三〇
奉天行（ひかり）	六・三五
釜山行	七・四〇
奉天行	八・四五
大連行 急	九・三〇
營口行	一〇・三〇
四平街行	一一・二五
奉天行	一三・〇五
大連行（あじあ）	一四・一〇
大連行	一四・三〇
四平街行	一五・三五
大連行	一六・五九
釜山行（のぞみ）	一七・一〇
北京行	一八・四五
四平街行	一九・四〇
大連行 急	二二・四〇
大連行	二二・五五
大石橋行	二三・三〇
奉天行	二三・五五

哈爾濱方面行	時刻
哈爾濱行 急	四・〇八
德惠行	五・一五
哈爾濱行	六・三二
哈爾濱行 急	八・〇五
哈爾濱行	九・二五
哈爾濱行	一三・二〇
哈爾濱行	一五・〇二
哈爾濱行（あじあ）	一八・〇五
德惠行	一九・三〇
哈爾濱行	二二・四〇
牡丹江行	二三・五〇

圖們方面行	時刻
吉林行	六・五五
羅津行（あさひ）	八・〇〇
圖們行	九・〇〇
吉林行	一三・一五
清津行	一五・二五
吉林行	一九・一〇
羅津行	二三・二五

白城子方面行	時刻
白城子行	七・一五
前郭旗行	一七・一〇
白城子行	二一・〇〇

【着】

大連方面より	時刻
大連發 急	三・五八
奉天發	六・二二
大連發	七・三七
大連發 急	七・五〇
大石橋發	八・四〇
四平街發	九・四六
四平街發	一〇・四九
北京發	一一・五〇
奉天發 急	一二・四五
釜山發（のぞみ）	一三・五〇
大連發	一四・五二
大連發	一六・四〇
大連發（あじあ）	一七・五五
營口發	一九・二〇
奉天發（はと）	二〇・一五
大連發	二〇・四八
四平街發	二一・五三
釜山發（ひかり）	二二・一六
奉天發	二三・二九

哈爾濱方面より	時刻
德惠發	〇・三五
哈爾濱發	三・一八
牡丹江發	六・一八
哈爾濱發	七・三〇
德惠發	一〇・五七
哈爾濱發	一二・五七
哈爾濱發（あじあ）	一四・〇〇
哈爾濱發	一六・五一
哈爾濱發	二〇・三〇
哈爾濱發 急	二二・三〇
哈爾濱發	二三・四五

圖們方面より	時刻
羅津發	八・四二
吉林發	一一・〇四
清津發	一四・二六
吉林發	一六・三六
圖們發	二〇・五〇
羅津發（あさひ）	二二・四五
吉林發	二三・四一

白城子方面より	時刻
白城子發	九・一七
前郭旗發	一三・二〇
白城子發	一九・〇五

出帆入船

大阪商船出帆

門司、神戶行（午前十一時大連出帆）

船名	出帆
扶桑丸	十月廿一日
らぷらた丸	十月廿三日
うすりい丸	十月廿四日
さんとす丸	十月廿六日
熱河丸	十月廿七日

三角 鹿兒島那覇行 午後三時大連發

事務所＝大連、奉天、新京、哈爾濱、驛とビューローで連絡切符發賣

日本郵船株式會社 大連、長崎、鹿兒島航路

大連行旅客丸 鹿兒島發	長崎發	大連着
八月廿一日	廿二日	廿五日
九月二日	三日	六日
九月十四日	十五日	十八日
九月廿六日	廿七日	卅日
十月八日	九日	十二日
十月廿日	廿一日	廿四日
十一月一日	二日	五日

鹿兒島行旅客丸 大連發	長崎發	鹿兒島着
八月廿七日	卅日	卅一日
九月八日	十一日	十二日
九月廿日	廿三日	廿四日
十月二日	五日	六日
十月十四日	十七日	十八日
十月廿六日	廿九日	卅日